

## 北海道サケネットワーク 2017 年度総会 要録

日 時 2017 年(平成 29 年)5 月 27 日(土)13:00～

場 所 札幌市男女共同参画センター(L プラザ)2 階 環境研修室2

出席者数 23 名

進 行 木村義一事務局長

○ 開会の挨拶 北海道サケネットワーク・阿部周一代表から冒頭の挨拶があった。

○ 議 事

### I 報告事項

1 2016 年度の活動報告について、事務局長から以下の通り報告があった。

- 1) 2016 年度総会・全道サケ会議を 16 年 11 月 12 日に開催した。
- 2) 会報第 9 号を発行した。
- 3) ニュースレター 50 号, 51 号を発行した。

### II 協議事項

1 2016 年度(16.1.1～16.12.31)収支決算報告及び会計監査報告が以下により報告され、承認された。

《収入の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	40,667	59,997	
会 費	42,000	47,000	
寄 付	0	0	
合 計	82,667	106,997	

《支出の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
手 数 料	2,000	910	
通 信 費	5,000	2,854	
消 耗 品 費	2,000	5,629	
会 議 費	10,000	48,500	
会 報 費	0	0	
予 備 費	63,667	2,030	
合 計	82,677	59,923	

(次年度繰越金 106,997 - 59,923 = 47,074)

### 2016 年度会計監査報告

北海道サケネットワークの、2016 年度(2016 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで)の会務、並びに会計の収支決算報告について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処

理されていると認めます。

2017年1月24日

監事 安達 宏泰

監事 佐々木 実

- 2 2016年度後期(17.1.1~17.3.31)収支決算報告及び会計監査報告が以下により報告され、承認された。

《収入の部》

科 目	16年度予算額	3月末までの収入額	摘 要
前期繰越金	29,997	47,074	
会 費	42,000	0	
寄 付	0	0	
合 計	71,997	47,074	

《支出の部》

科 目	16年度予算額	3月末までの執行額	摘 要
手 数 料	2,000	0	
通 信 費	5,000	0	
消 耗 品 費	2,000	2,726	
会 議 費	10,000	2,830	
会 報 費	0	0	
予 備 費	64,062	2,030	
合 計	83,062	7,586	

(次年度繰越金 47,047 - 7,586 = 39,461)

### 2016年度後期会計監査報告

北海道サケネットワークの、2016年度後期(2017年1月1日から3月31日まで)の会務、並びに会計の収支決算報告について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処理されていると認めます。

2017年4月18日

監事 安達 宏泰

監事 佐々木 実

- 3 2017年度活動計画及び予算案(2017.4.1~2018.3.31)が以下により提案され、承認された。

1) 活動計画

- ・ 会報10号の発行
- ・ ニュースレターの発行  
会員情報の充実を図り、年4回を予定。乞う協力。
- ・ 2017年度総会の開催
- ・ 2017年度サケ会議の共催

## 2) 2017年度予算案

### 《収入の部》

科 目	前年度予算	17年度予算	増 減
前期繰越金	40,667	39,488	-1,179
会 費	42,000	42,000	0
寄 付	0	0	0
合 計	82,667	81,448	-1,179

### 《支出の部》

科 目	前年度予算	17年度予算	増 減
手 数 料	2,000	2,000	0
通 信 費	5,000	5,000	0
消 耗 品 費	2,000	2,000	0
会 議 費	10,000	10,000	0
会 報 費	0	0	0
予 備 費	63,667	62,488	-1,179
合 計	82,667	81,488	-1,179

#### 4 会計年度の改正及び規約改正が提案され、承認された。

【総会】（旧）「年1回、定期総会を開催する」を（新）「年1回、定期総会を春期に開催する」と改める。

「ネットワークによる臨時総会を開催することが出来る」を付け加える。

【会計年度】（旧）「1月1日から12月31日までとする」を（新）「4月1日から翌年3月31日までとする」に改正する。

【付則】（加筆）「この改正は2016年11月12日から施行する」

#### 5 役員改選：2017年度－2018年度の役員について以下のように提案され、承認された。

代 表（1名）	阿部 周一	北海道大学水産化学研究院
副 代 表（1名）	寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
事務局長（1名）	木村 義一	札幌サケ協議会
幹 事（若干名）	市村 政樹	標津サーモン科学館
	千葉 養子	とかち・帯広サケの会
監 査（2名）	安達 宏泰	水産総合研究センター
	佐藤 信洋	豊平川さけ科学館
顧 問	浦野 明央	北海道大学理学院
	河村 博	北海道立研究機構

#### 6 その他

- 1) 会員名簿には「長万部漁業協同組合」が掲載されているが、会費未納が長期にわたり続いていることから、事務局としては名簿から削除したい旨の提案があり、承認された。

- 2) SWSP に対し北海道サケネットワークに加盟してもらうようにすべきだとの提案があり、阿部代表からその方向で調整する旨の回答があった。なお、出席した札幌市豊平川さけ科学館の佐藤氏から SWSP の活動概要が説明され、SWSP のネットワーク加盟には問題ないだろうとの意見が述べられた。

## ○ 情報交換

出席団体の代表者から各団体の活動現況について報告があった。概要は次の通り。

### 1 水産研究・教育機構北海道区水産研究所

昨年のサケ漁獲量は非常に低調だった。水産庁などを中心に増殖計画が立てられている。不漁は海のせいにされるが、昭和 50 年代から 60 年代にかけての熱心な孵化放流事業への取り組み姿勢が変わってきているのかもしれないと危惧している。

### 2 千歳水族館

放流体験事業を今月いっぱい行ったが、約 2 万人が参加し、好評だった。昨年 7 月の水族館としてのリニューアル以来来館者数は 2.5 倍となったが、今は落ち着きを見せている。来館者へのアンケート結果を見ると新しい展示を喜んでくれているようだ。3 月から 5 月にかけて回転寿司店とのコラボにより、両施設を訪れた人々にサケのペーパークラフトを提供するなどイベントを行ったが、予想以上の来訪者を得た。今も「館長三貫」などの人気メニューは残っている。今年夏にも主として子どもたちを対象にマリーナレーニングの一環としてサケの回遊経路調査とにぎり寿司の組合せなどのイベントを計画中。

### 3 標津サーモン科学館

最近チョウザメ飼育のニュースが盛んに報じられているが、サケの飼育研究も忘れてはいない。産卵場所設置の増加を図っている。トキシラズの卵を使いハイブリッドサケの養殖ができないか研究中。

### 4 北海道大学理学院 浦野名誉教授

冬のアラスカ湾から戻るサケの脳の遺伝子の発現解析を始めた。日本におけるシロサケの遺伝子に関する情報が少ないので、データベースを整理している。

### 5 北海道立総合研究機構 河村氏

釣りを通してブラウントラウトの稚魚の食生活を研究中。サクラマスとの比較も行っている。積丹町サクラマスセンターで 4K の鮮明なビデオを制作した。一見の価値がある。

### 6 とち帯広サケの会

市民による稚魚の放流事業を 5 月に行った。32 回の実施を数える。ふ化場と中学校のふ化施設から稚魚の提供を受け、子どもたちと 14,400 尾の放流を行った。放流間際に水源の水が止まったが何とか間に合わせた。ホースの老朽化だろうが、支援団体の財政的支援を受けて改修したい。

## 7 大雪と石狩の自然を守る会

「あさひかわサケの会」とともに、2つの川にサケを戻そうと取り組んでいる。1983年から開始。2009年～2011年に群れが見られるようになった。産卵床数は、去年は少なくなったが、開発局と連携しながら継続している。来年、台風被害のあとの河川改修が行われる予定だが、サケとの棲み分けを考えてもらっている。

(教育分野)

市民向けのサケ関連施設見学旅行を行った。千歳水族館、札幌市豊平川さけ科学館を見学した。千歳では初めての放流体験を行った。忠別川の清掃活動も90Lのゴミ袋37袋という大量のゴミがあった。教育委員会の支援で、幼稚園、保育所への出前授業要請に応えたい。

## 8 丸水札幌中央水産(株)

前浜で取れたサケを活用し海外に輸出する事業に取り組み中だが、前浜の状況に変化が出ている。サケ、イカ、サンマが年々獲れなくなっている。環境の変化なのかどうか、誰もはっきりとした回答を持たない。本日は不漁の原因について学びたい。

## 9 札幌サケ協議会

北海道サーモン協会が解散したが、協会の役割の一つ「全道サケ会議」の継続実施のための事務局体制が整うまで、北海道サーモン協会の流れを受け継いでいる団体。数名の有志での組織で会員はいない。強力な財政的裏付けもない。阿部代表から木村代表になって活動をしている。

以上